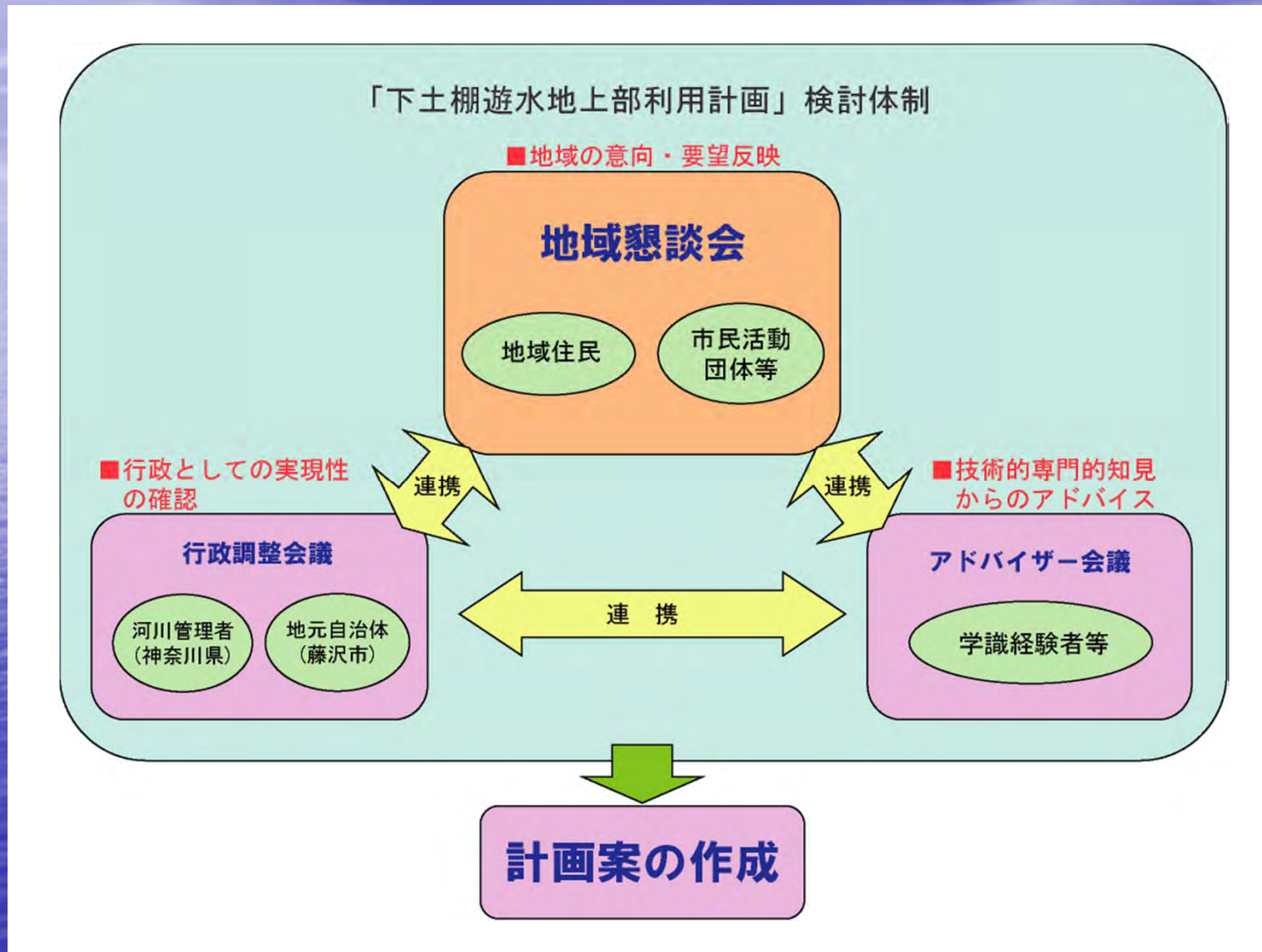


下土棚遊水地上部利用計画 地域懇談会

第 2 回

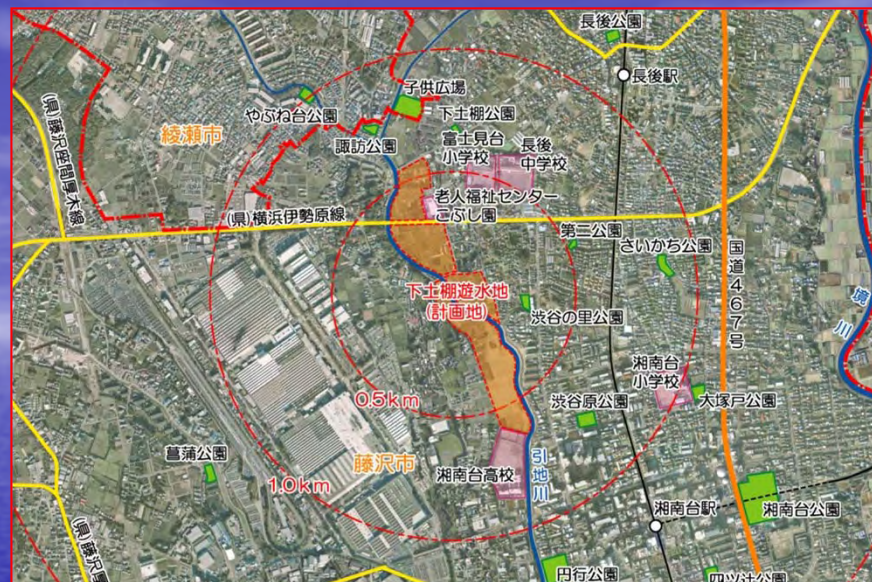
平成24年9月26日

「下土棚遊水地上部利用計画」検討体制



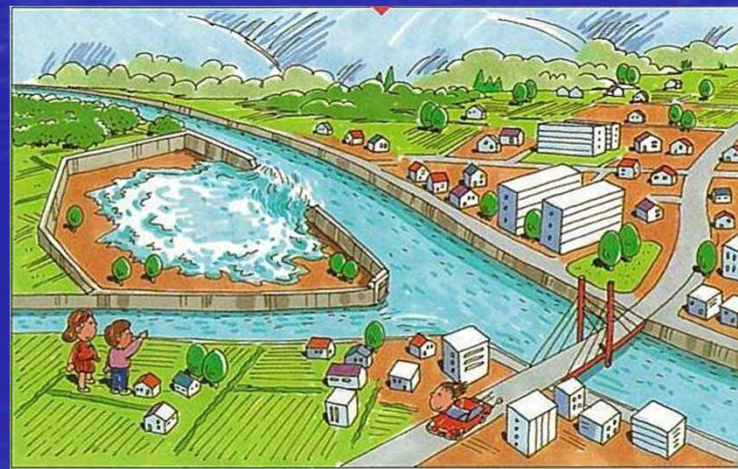
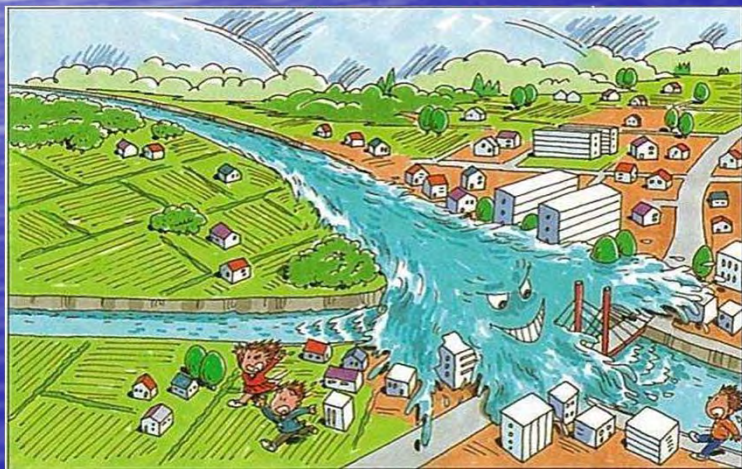
1 計画概要の説明

◆「下土棚遊水地」は、流域の大雨時の浸水被害の防止を目的とした遊水地として、平成27年度を目標に整備を進めています。



Q遊水地とは、・・・？

流域の大雨時の浸水被害の防止を目的として、河川の堤防の一部を低くし、そこから溢れた水を溜めるための池です。



■事業概要 引地川／下土棚遊水地（河川改修事業）

【事業概要】

事業名	河川改修事業 (公共)
河川名	二級河川 引地川
事業箇所	藤沢市下土棚地先
事業年度	平成18年度～平成27年度(予定)
事業概要	面積 $A \doteq 14 \text{ ha}$ 貯留量 $V \doteq 460,000 \text{ m}^3$ 洪水調節量 $Q \doteq 90 \text{ m}^3/\text{s}$

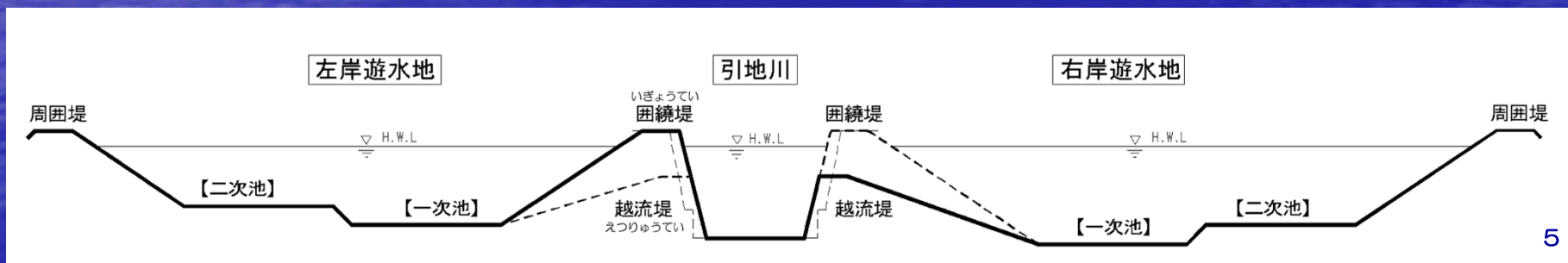
【現地航空写真】



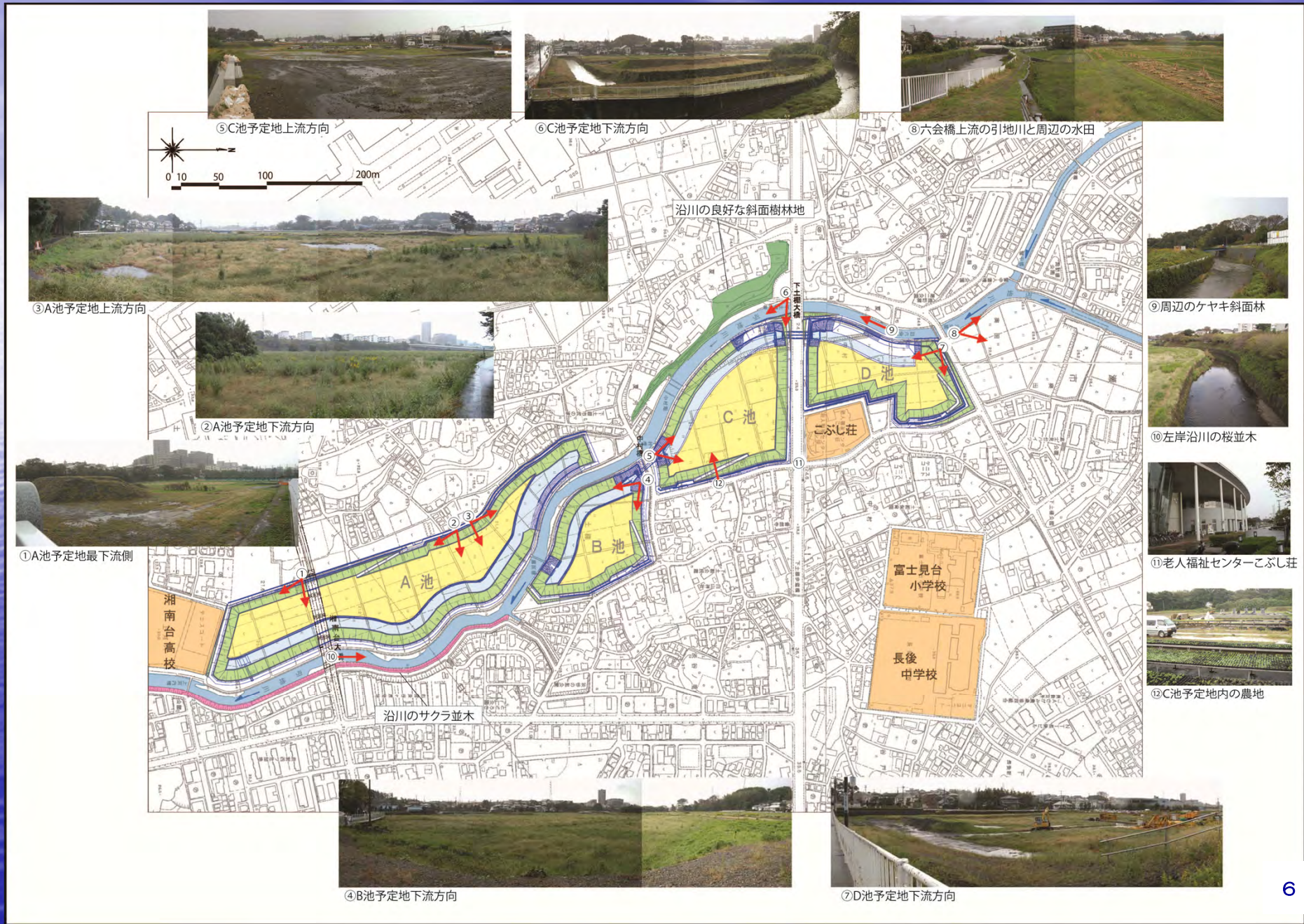
【整備計画】

引地川では、50mm/hrの降雨に対応できる河川整備を進めています。その改修計画の一環として洪水を貯留、調節する2か所の遊水地、大庭遊水地（H5完成）と下土棚遊水地の整備を進めています。

【標準断面図】

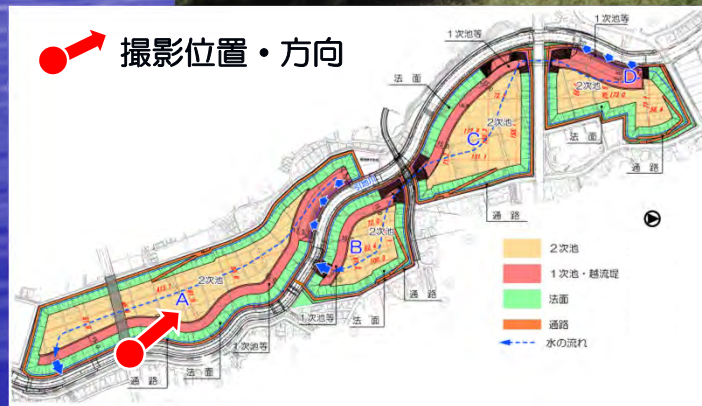


<計画地の現状>



<計画地の現状>

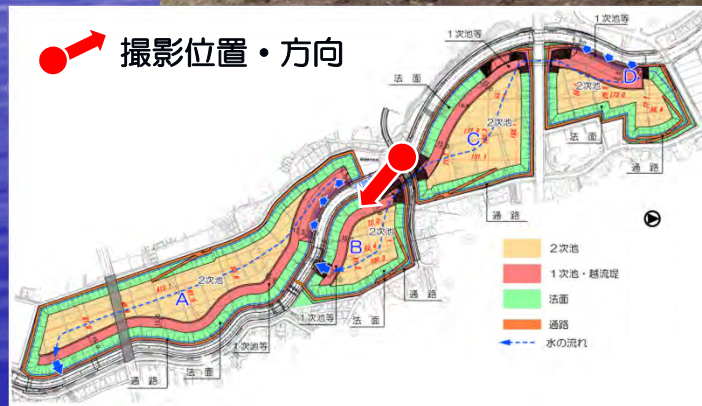
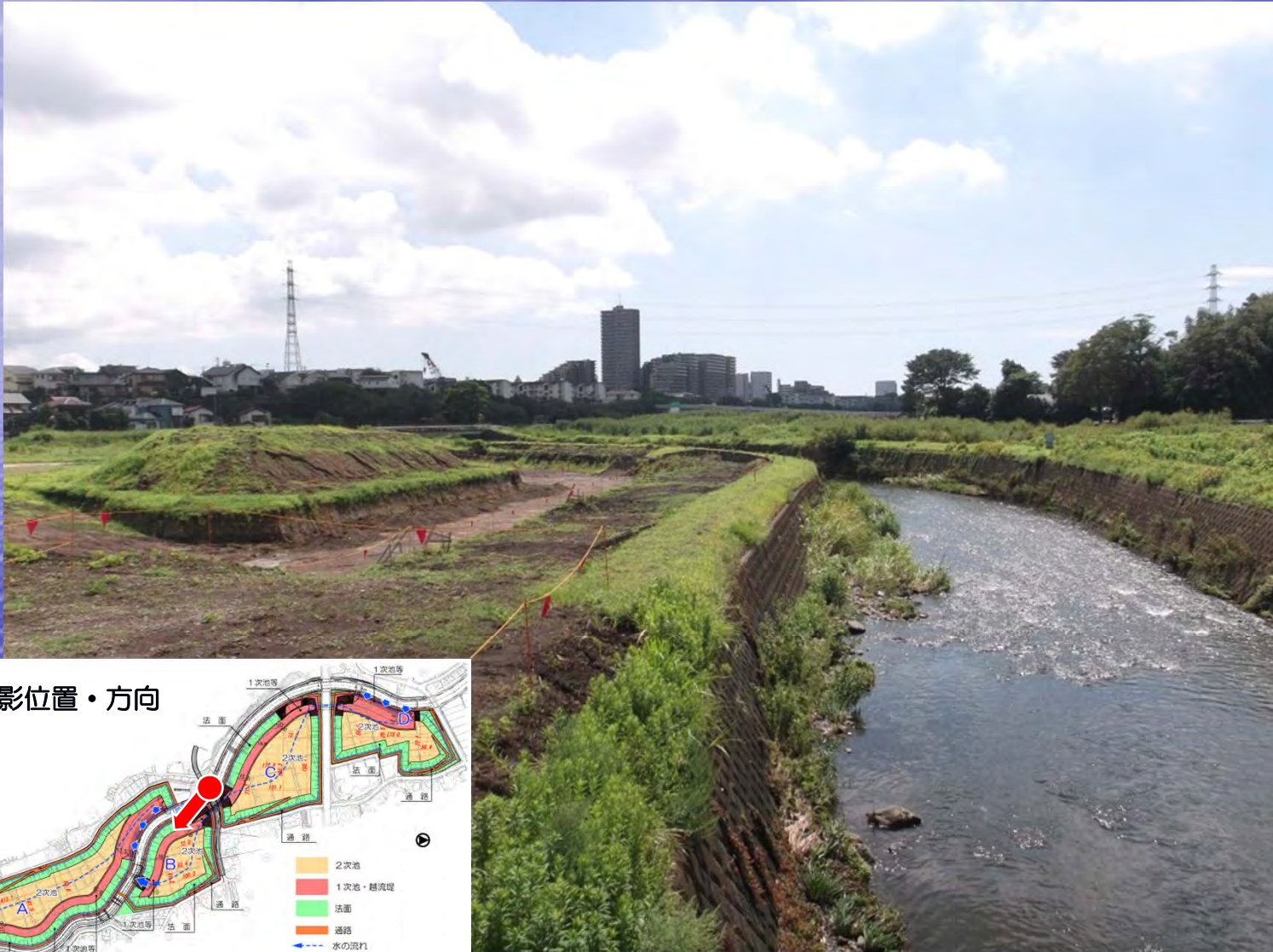
■ A池



湘南台大橋より

<計画地の現状>

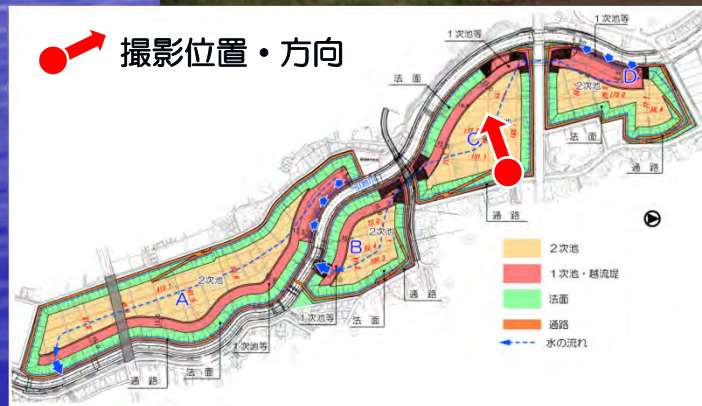
■ B池



中村橋より

<計画地の現状>

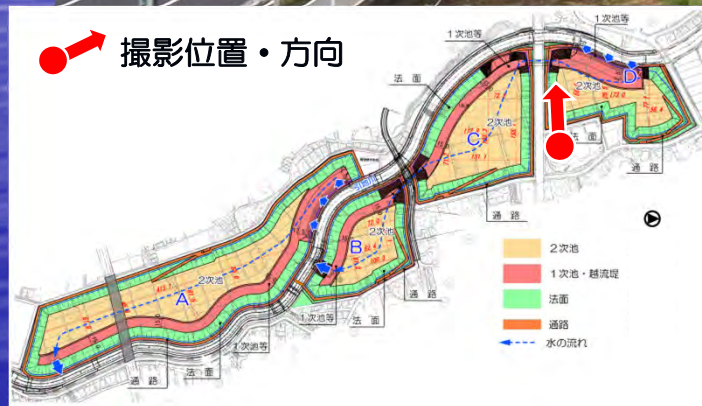
■ C池



善然寺入口付近より

<計画地の現状>

■ D池



こぶし荘屋上より

2 これまでの検討経緯

<これまでの検討経緯>

【平成21年度】

意見交換会

【平成22年度】

地域経営会議への説明

【平成23年度】

具体的な計画（案）策定に向けた
行政による意見交換会の開催

(参考)平成21年度の意見交換会の成果より

■平成21年度の意見交換会で出された意見による導入施設

導入機能名		活用のイメージ	備考
①	スポーツ	野球場を主としたグラウンド テニスコート、サッカー場	・意見交換会 ・市民要望
②	多目的広場	地域のイベントやの軽微な運動など多目的に活動 できる広場	・意見交換会 ・市民要望
③	親水空間・ ビオトープ	水場を中心とした水生植物や生物空間など、憩い と学習に活用できる空間 ※ただし、雑草等への懸念がある。	・意見交換会 ・市民要望
④	体験農園	現況の風景を将来に伝えつつ、農業を体験できる 農園空間	・市民要望
⑤	駐車場	来場者のための駐車場	・意見交換会
⑥	お手洗い	利用者の手洗いにも使えるお手洗い	・意見交換会
⑦	情報提供	地域の今昔や遊水地の重要性を説明する情報提供 (パネル設置など)	・意見交換会

※備考は、意見の出された所管を示す。

※「市民要望」は、藤沢市よりご報告のあった件の内容。

3 遊水地上部利用にあたっての 制約条件

◆遊水地上部利用にあたっては、制限があります。

遊水地上部利用にあたっての制約条件のポイント

- 一次池の水理的な特徴
- 二次池の面積
- 維持管理の必要性
- 上位・関連計画における位置づけ

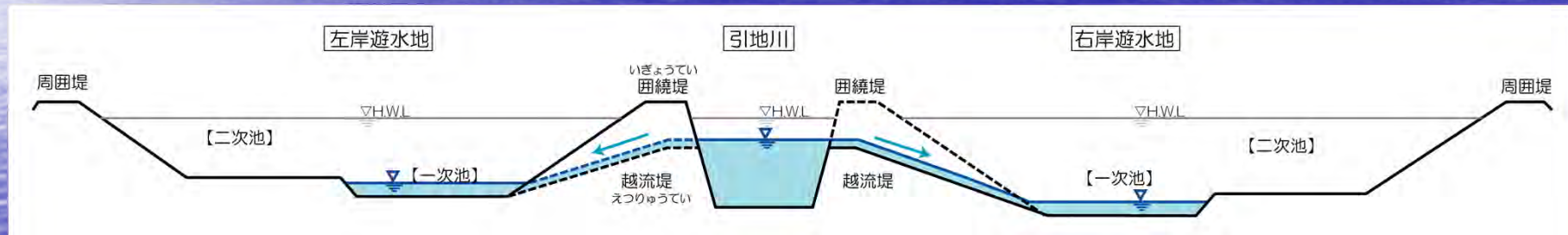
■水理的な必要機能に伴う制約

一次池は水に浸かる頻度が高い

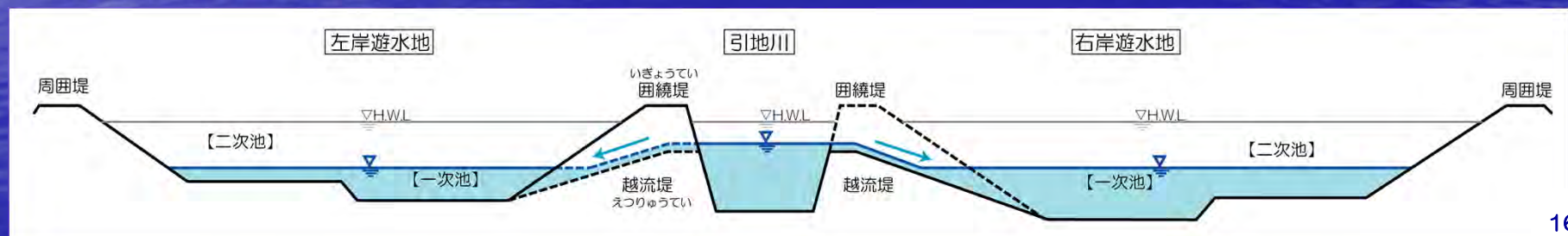
【平常時】



【洪水時（越流）】 1時間に30mm程度の降雨

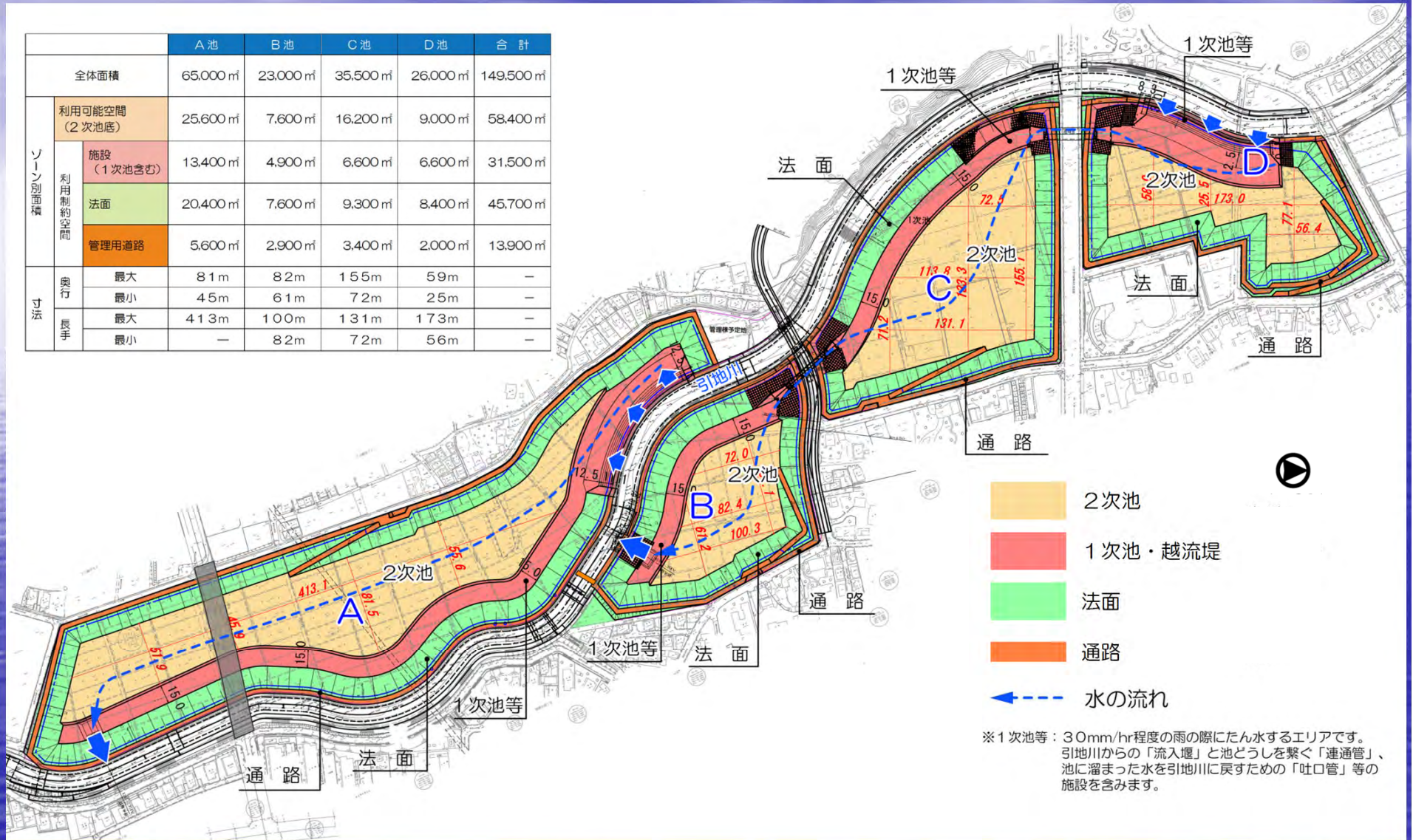


【洪水時（二次池冠水）】 1時間に50mm程度の降雨（1年に2~3回程度）



空間別の面積

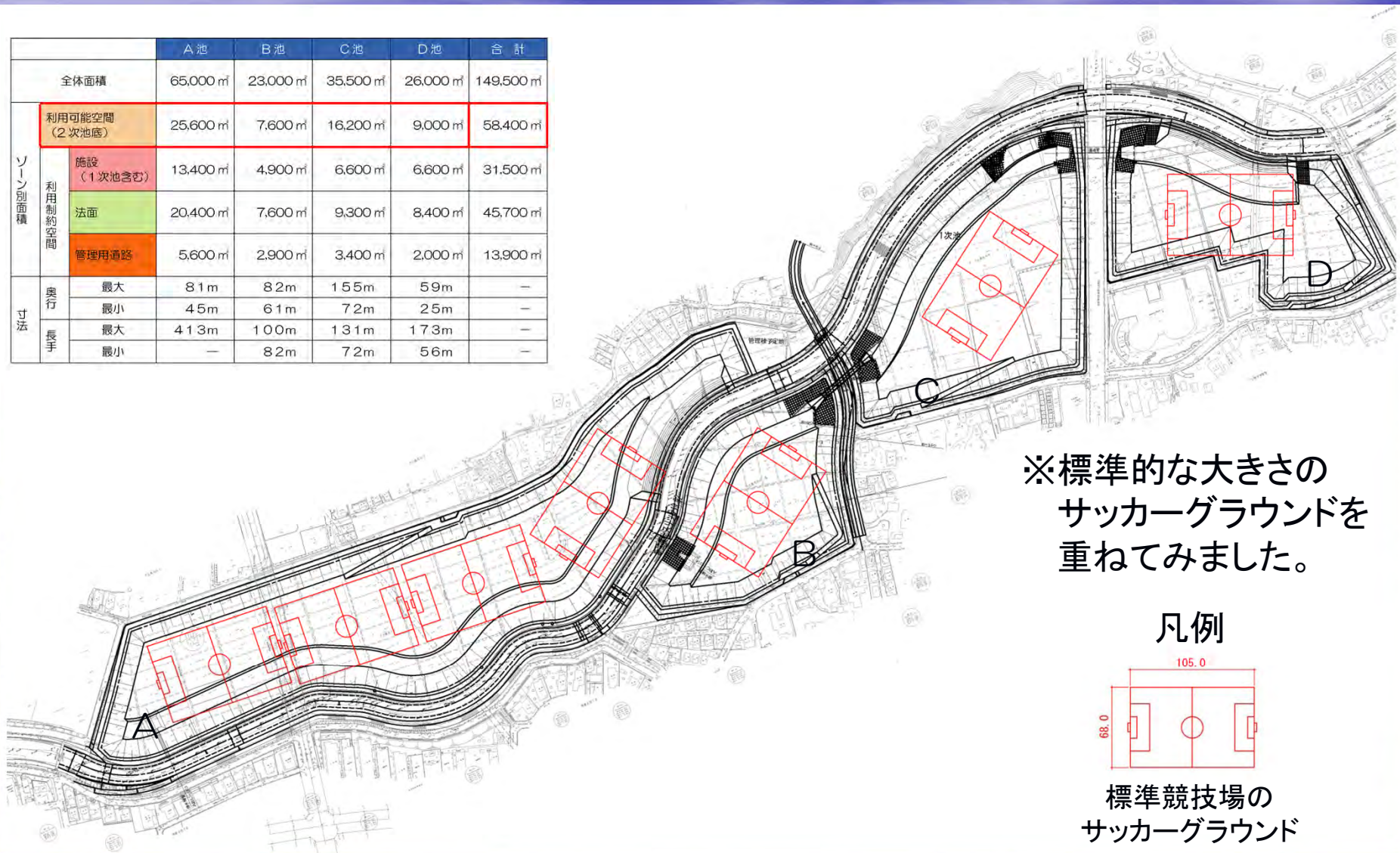
	A池	B池	C池	D池	合計	
全体面積	65,000㎡	23,000㎡	35,500㎡	26,000㎡	149,500㎡	
ゾーン別面積	利用可能空間 (2次池底)					
	施設 (1次池含む)					
	法面					
	管理用道路					
寸法	奥行					
	最大	81m	82m	155m	59m	—
	最小	45m	61m	72m	25m	—
	長手	最大	413m	100m	131m	173m
	最小	—	82m	72m	56m	—



■二次池の面積

平常時の活用には限りがあります

		A池	B池	C池	D池	合計	
全体面積		65,000㎡	23,000㎡	35,500㎡	26,000㎡	149,500㎡	
利用可能空間 (2次池底)		25,600㎡	7,600㎡	16,200㎡	9,000㎡	58,400㎡	
ゾーン別面積	施設 (1次池含む)	13,400㎡	4,900㎡	6,600㎡	6,600㎡	31,500㎡	
	法面	20,400㎡	7,600㎡	9,300㎡	8,400㎡	45,700㎡	
	管理用道路	5,600㎡	2,900㎡	3,400㎡	2,000㎡	13,900㎡	
寸法	奥行	最大	81m	82m	155m	59m	—
		最小	45m	61m	72m	25m	—
	長手	最大	41.3m	100m	131m	17.3m	—
		最小	—	8.2m	7.2m	5.6m	—



※標準的な大きさの
サッカーグラウンドを
重ねてみました。

凡例



標準競技場の
サッカーグラウンド

<維持管理の必要性>

■一般的な作業項目

維持管理の内容（多目的施設の例）			管理時期	
通常時	1.清掃（ゴミ、汚れの除去）		毎日	
	2.点検補修	施設名	内 容	1回/月 ～ 1回/年
		園路(管理用通路)、 広場	破損、不陸、排水不良箇所の補修、除草、草刈他	
		駐車場	破損、不陸、排水不良箇所の補修	
		野球場	グラウンド不陸直し、バックネット張替、砂補充他	
		テニスコート	コート補修、ネット取替、外柵補修他	
		植栽地	植込地、芝地、 農園	
	水生植物地	植替、除草、灌水		
出水時	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者の新たな立入り禁止および避難誘導等 バックネット、テニスネット等の専用施設の撤去移動緊結等 		—	
退水後	堆積ヘドロ、汚物の除去		—	
	施設の復旧	工作物		破損・不陸箇所の補修、舗装面の汚れの清掃
		植物		バックネット、テニスネット等の専用施設の復旧
	植物	葉面洗浄、枯損木・流出木の補植、裸地の回復		

<上位計画・関連計画における位置づけ>

■ 藤沢市の上位・関連計画における下土棚遊水地の位置づけ

計画の名称	下土棚遊水地に関連する計画等
都市マスタープラン	下土棚遊水地では上部利用等市民とともにレクリエーションの場づくりを促進する
緑の基本計画	下土棚遊水地は緑の軸線となる引地川の河川軸上の「自然とのふれあい拠点」とする
ビオトープネットワーク基本計画	下土棚遊水地とその周辺は保全型ビオトープ核エリアと位置づけ、藤沢市のビオトープネットワーク形成に向けた拠点として保全、再生、拡大を図る
ふじさわスポーツ元気プラン2020	河川整備等に合わせた新たなスポーツの場の確保する 引地川遊水地上部利用（下土棚）※H23～検討、H27実施

4 近隣の遊水地の例

■藤沢市 大庭遊水地（引地川親水公園）

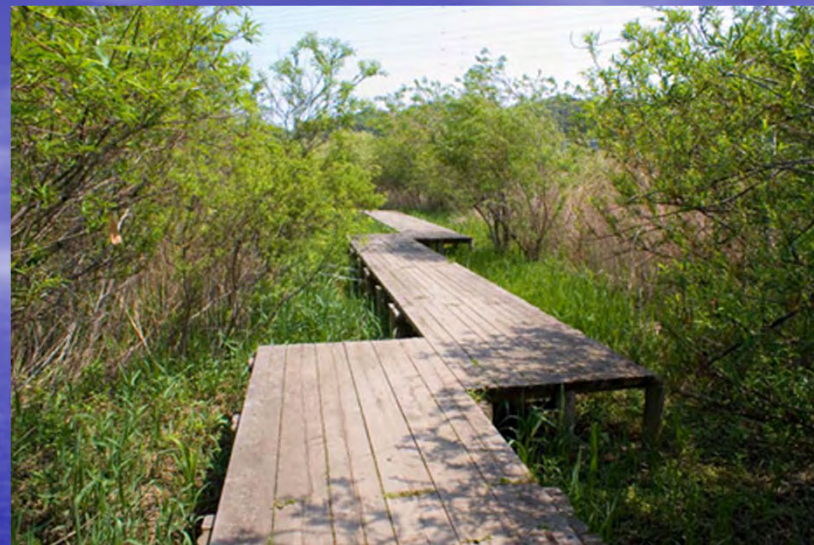


- 面積：9.69ha
- 主な施設：多目的広場、球技広場、湿生植物ゾーン
- 事業概要：
 - ・総合治水特定河川事業。
 - ・神奈川県と藤沢市が連携して整備しました。
- 供用：平成9年4月1日
- 維持管理：
 - (遊水地部) 神奈川県 藤沢土木事務所
 - (上部公園部) 藤沢市藤沢市まちづくり協会・藤沢市緑化事業協同組合 グループ

■ 利用例：多目的広場、植生湿生ゾーン



↑ 芝生広場



↑ 植生湿生ゾーン

＜参考＞ 芝生広場の利用例



↑ ターゲット・バードゴルフ



↑ グラウンド・ゴルフ

< 利用状況と維持管理 >

【利用状況】

○二次池の利用状況

	球技場	ドッグラン	多目的広場
利用者数	11,492人/年	<ul style="list-style-type: none"> ・小型犬 1,205頭 ・中大型犬 1,582頭 	大庭市民センターがとりまとめており不明
利用団体	280件/年	1件/年	

○一次池（散策や自然観察会など）の利用状況

年間利用者数	77,700人/年（H23年の親水公園全体の利用者数）
--------	-----------------------------

【維持管理】

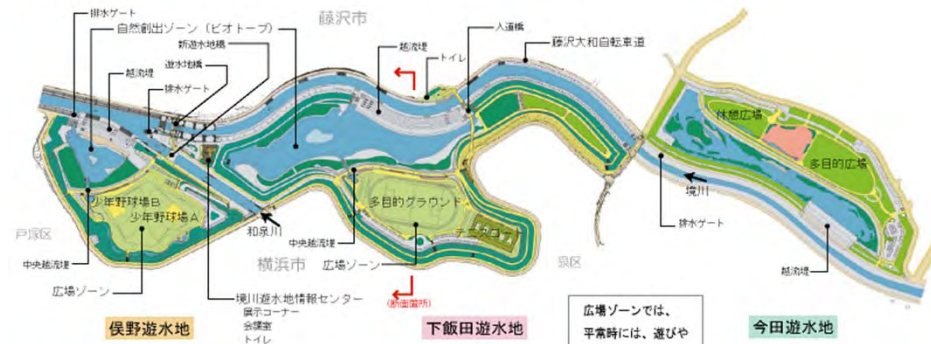
項目	費用	備考
二次池の植物管理 (芝刈り、草刈り、肥料等)	960万円/年	
一次池の清掃	1,500万円/年	親水公園全体と周辺の引地川を含む
冠水時清掃	10~20万円/回	作業員4人で一日かかり程度

【苦慮していること】

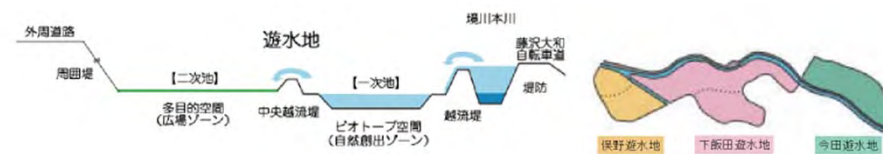
- ・ 毎年、芝の補修費が必要。
- ・ 大雨のための冠水時による清掃費用がかかる。
- ・ 入口を閉鎖しても、各方面から人が入れるため、安全管理が行き届かない。

■神奈川県 境川遊水地公園

計画平面図



計画断面図



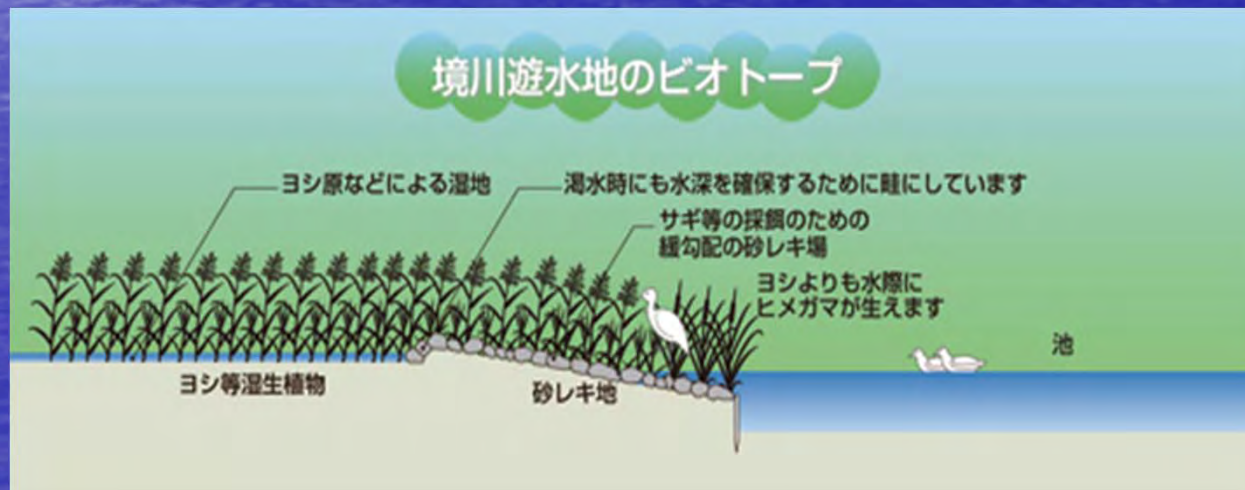
広場ゾーンでは、平常時には、遊びや運動など多目的広場として利用できます。

- 面積：約30ha（計画）
- 主な施設：
 - （下飯田遊水地：横浜市泉区）多目的グラウンド、少年野球場、テニスコート、ビオトープ等
 - （俣野遊水地：横浜市戸塚区）少年野球場、ビオトープ等
- 事業概要：
 - ・総合治水特定河川事業。
 - ・境川遊水地の上部空間を都市公園として有効利用するもので、河川と公園が連携するという整備手法をとった県立都市公園。
- 供用（一部供用）：
 - ・H19.8.4：俣野遊水地と下飯田遊水地の一部
 - ・H21.11.25：下飯田遊水地の一部、多目的グラウンドとテニスコート供用開始
- 維持管理：
 - （遊水地部）神奈川県 藤沢土木事務所
 - （上部公園部）神奈川県公園協会

■ビオトープ



↑ビオトープ



↑ビオトープのイメージ

■各種スポーツ施設



↑サッカーのできる多目的広場



↑テニスコート



↑野球場



< 利用状況と維持管理 >

【利用状況】

○二次池の利用状況

	俣野遊水地 (少年野球場)	下飯田遊水地 (多目的広場) (テニスコート)		2池合計
月別利用者数	22,500人/月	11,400人/月	14,000人/月	47,900人/月
年間利用者数				245,000人/年 (H23年実績)
登録団体	45団体	88団体	3団体	136団体

○一次池（散策や自然観察会など）の利用状況

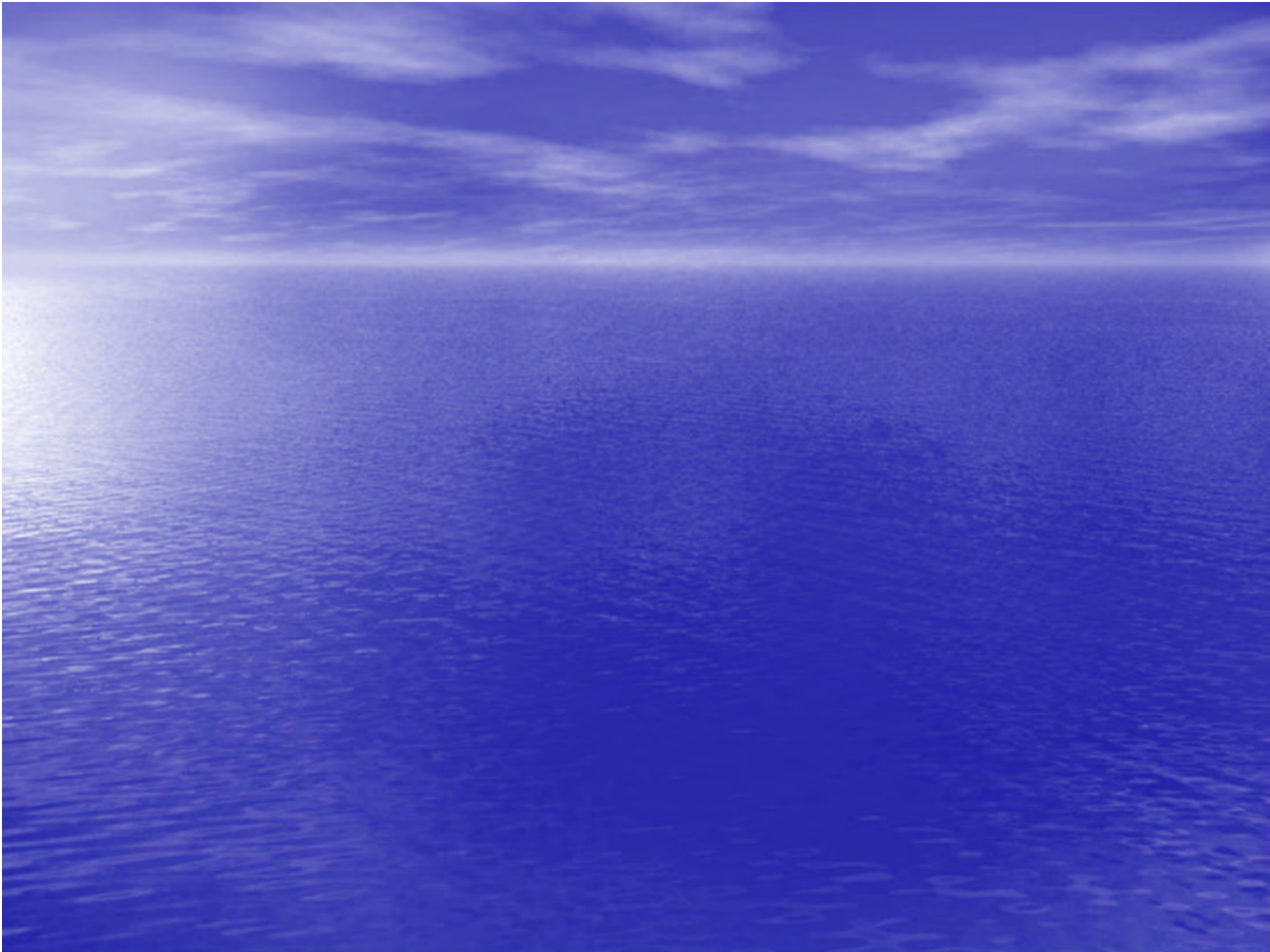
年間利用者数	1,271人/年	
イベント回数	28回/年	28回のうち2回は有料のイベント（貝化石標本作り）

【維持管理】

項目	費用	備考
植物管理 (草刈り、芝の手入れ、中低木剪定等)	900万円/年	<ul style="list-style-type: none"> 芝の手入れ：夏に3~4回 中低木剪定：2~3回/年
多目的広場の芝の手入れ	150万円/年	
その他トイレ	230万円/年	
ゴミ廃棄物処理	160万円/年	<ul style="list-style-type: none"> 人件費や草刈り時の処分費を含む
冠水時清掃 (流木処分、ゴミ処理等)	950万円/年	<ul style="list-style-type: none"> 2~4 t 車で2~3台分運び出す 200~300万円/回 人件費や作業費を含む

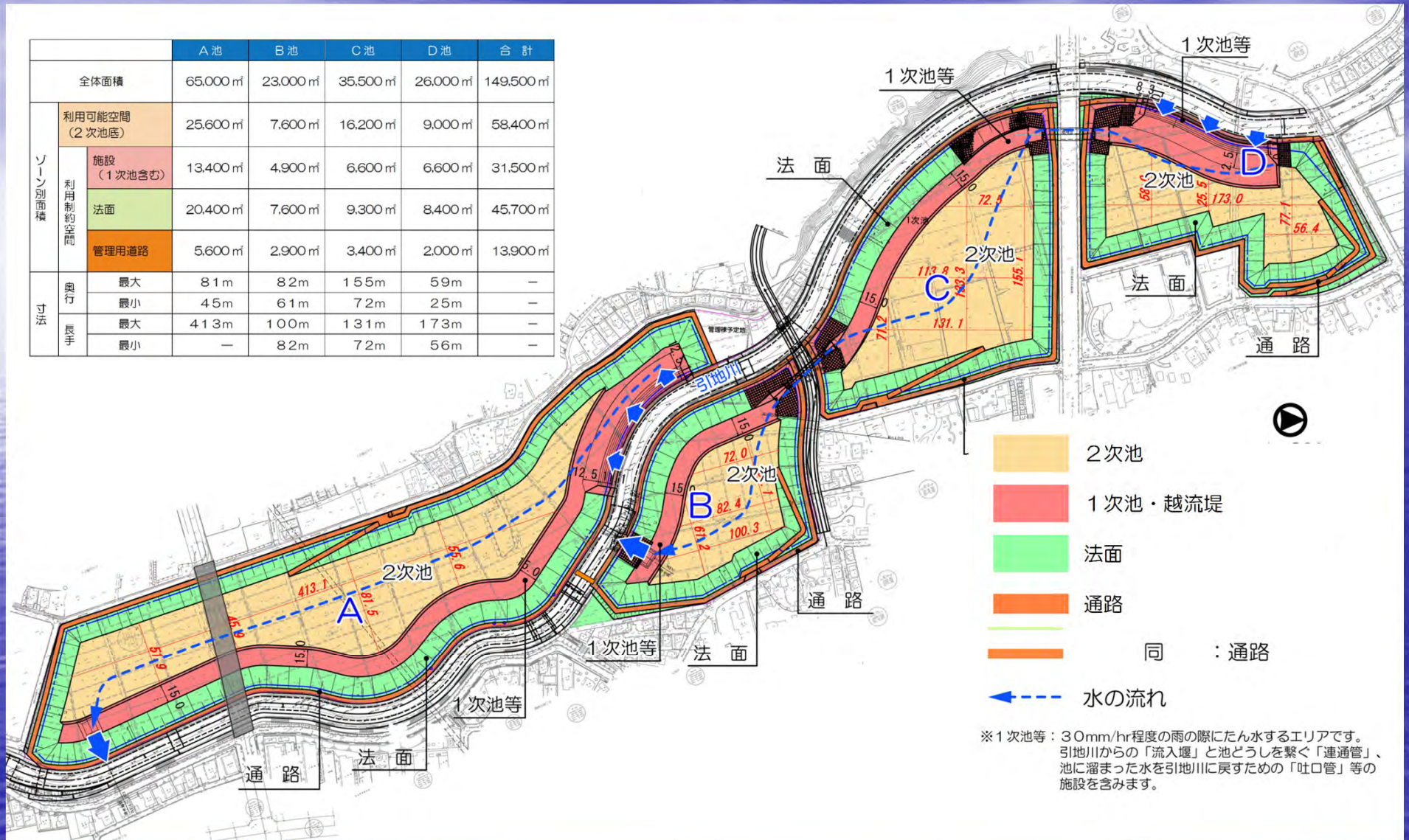
【苦慮していること】

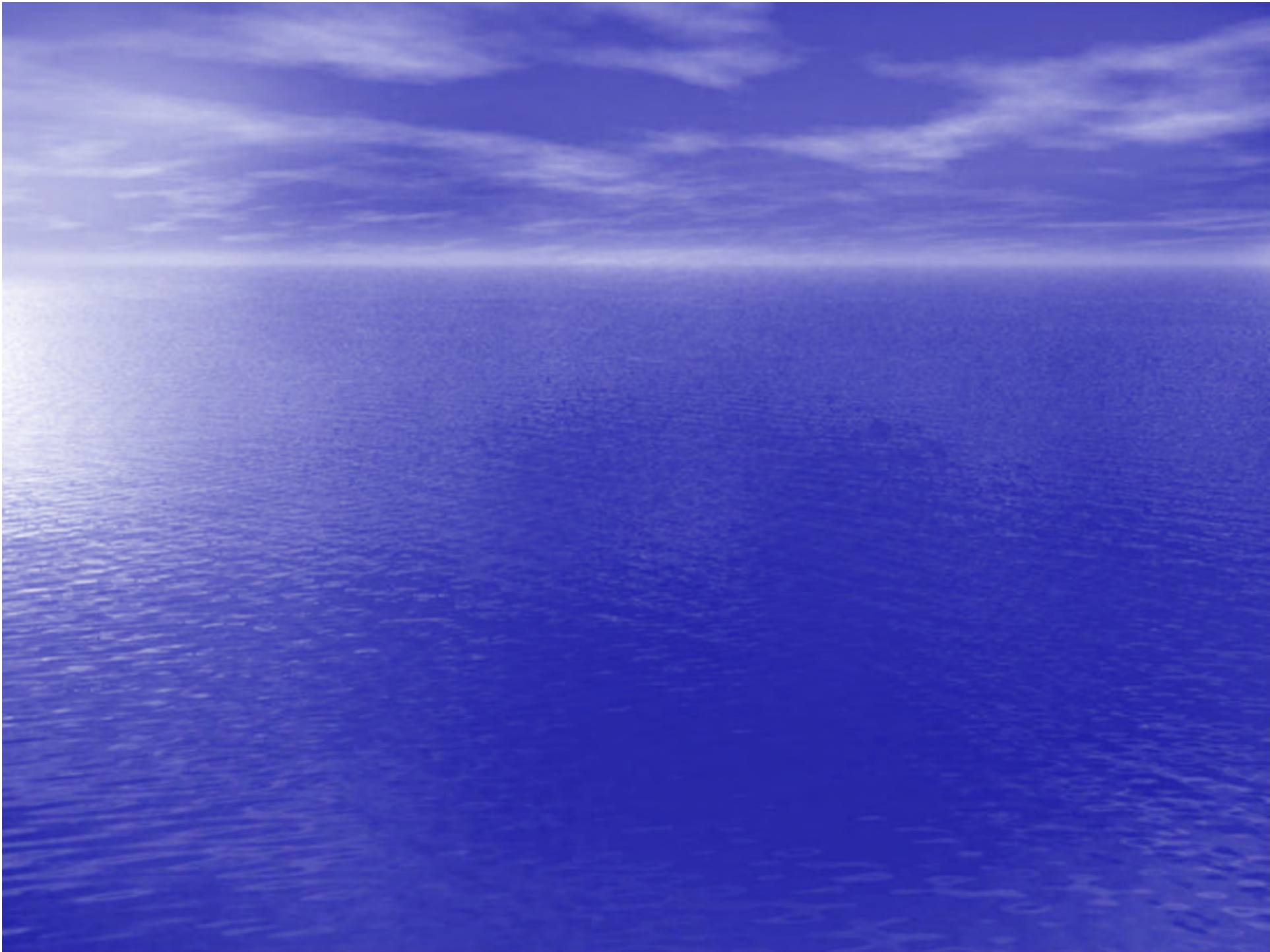
- 多目的広場は芝生管理の負担が大きい



計画平面図

	A池	B池	C池	D池	合計	
全体面積	65,000㎡	23,000㎡	35,500㎡	26,000㎡	149,500㎡	
ゾーン別面積	利用可能空間 (2次池底)					
	25,600㎡	7,600㎡	16,200㎡	9,000㎡	58,400㎡	
	施設 (1次池含む)					
	13,400㎡	4,900㎡	6,600㎡	6,600㎡	31,500㎡	
法面						
20,400㎡	7,600㎡	9,300㎡	8,400㎡	45,700㎡		
管理用道路						
5,600㎡	2,900㎡	3,400㎡	2,000㎡	13,900㎡		
寸法	奥行					
	最大	81m	82m	155m	59m	-
	最小	45m	61m	72m	25m	-
	最大	41.3m	100m	131m	173m	-
長手						
最小	-	82m	72m	56m	-	

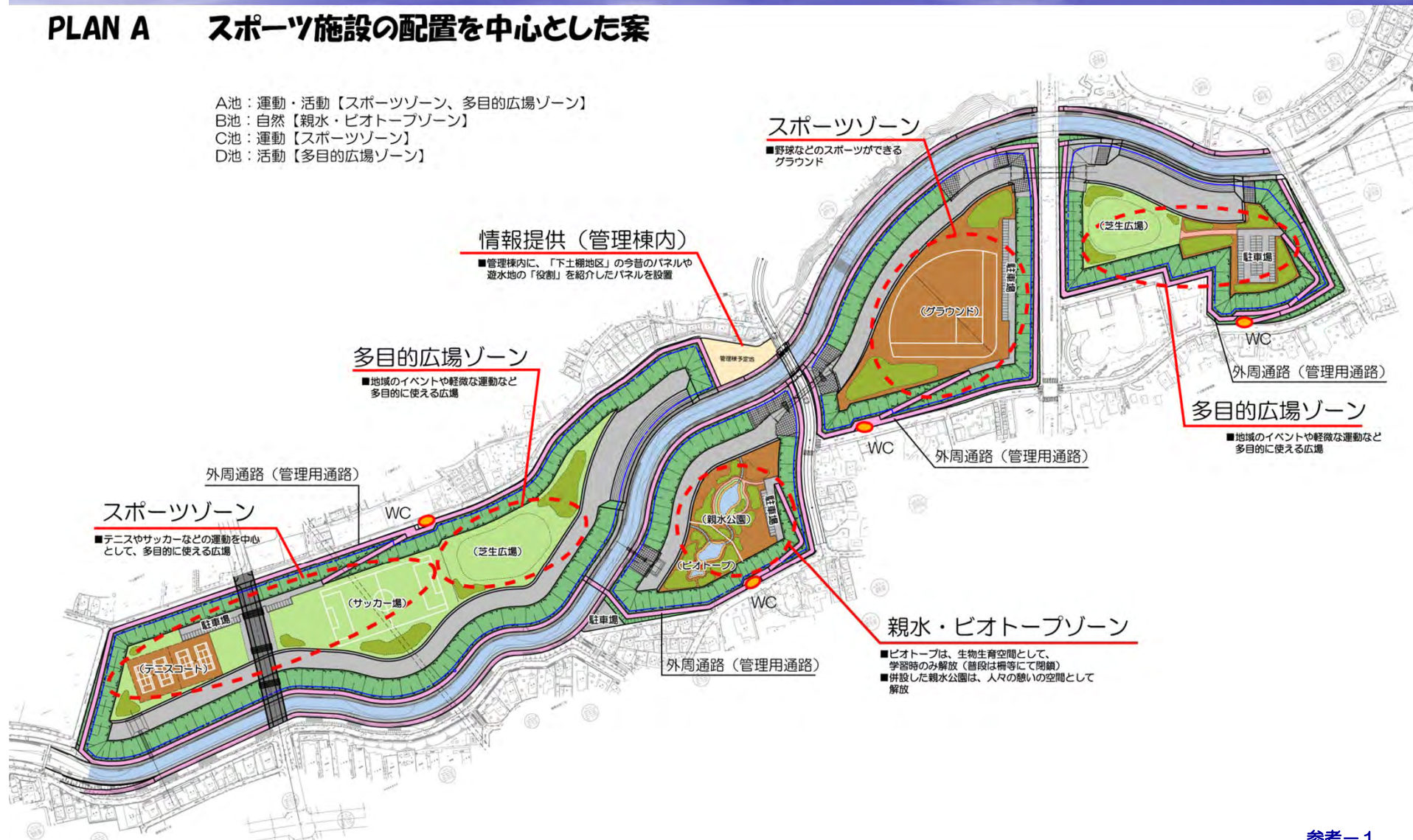




(参考) 平成21年度の意見交換会の成果より ■配置プランについて

PLAN A スポーツ施設の配置を中心とした案

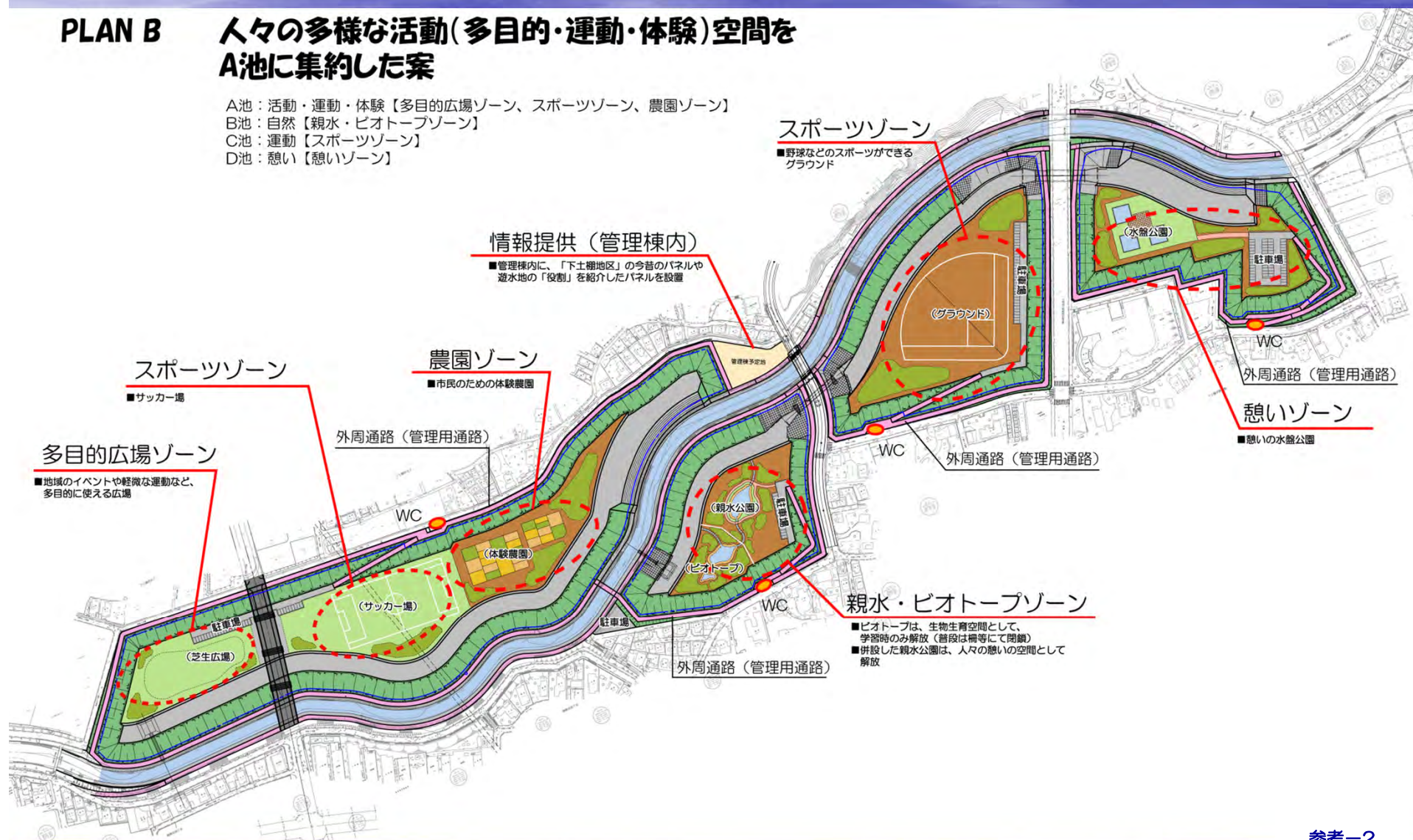
- A池：運動・活動【スポーツゾーン、多目的広場ゾーン】
- B池：自然【親水・ビオトープゾーン】
- C池：運動【スポーツゾーン】
- D池：活動【多目的広場ゾーン】



(参考) 平成21年度の意見交換会の成果より 配置プランについて

PLAN B 人々の多様な活動(多目的・運動・体験)空間を A池に集約した案

- A池：活動・運動・体験【多目的広場ゾーン、スポーツゾーン、農園ゾーン】
- B池：自然【親水・ビオトープゾーン】
- C池：運動【スポーツゾーン】
- D池：憩い【憩いゾーン】



(参考) 平成21年度の意見交換会の成果より ■配置プランについて

PLAN C 多目的な活動を中心とした案

- A池: 活動【多目的広場ゾーン、親水・ピオトーブゾーン】
- B池: 体験【農園ゾーン】
- C池: 運動【スポーツゾーン】
- D池: 活動【多目的広場ゾーン】

